



# 立山三山縦走未遂 (富山県) 2013.9

まだテン泊を始めていなかった2013年、みくりが池温泉泊で立山へやってきました。弥陀ヶ原でバスを降りて湿原を抜け、鎖場を経て獅子鼻岩はどこかわからず(バカ)、室堂へ。みくりが池温泉では布団一枚のスペースにカーテンで仕切りが出来て、なんとコンセントもあった! 女性部屋だったが、だからといってブラジャーを干していた隣の人にはちょっとあきれた。翌朝は室堂山から始めて浄土山~雄山~大汝山~富士ノ折立~真砂岳…。しかし力尽きてタイムオーバー、別山までは行けず、大走りから下山。雷鳥沢キャンプ場からみくりが池までは思ったより速く、暗くなってしまった。立山で一番辛いのはあの石畳歩きだ、とつくづく思った。最終日は奥大日岳まで登り、いつか大日三山縦走しようと思いつつ毎日あるペン号で帰った。ちなみに大日三山は昨年Mさんと実行した。その前年には折立から室堂までテン泊縦走。けっこう成長したなあと思う。

弥陀ヶ原から獅子鼻岩、そして室堂まで歩きました



ザ・立山な感じ(上切れるケド…)



みくりが池



縦走路から黒部湖を見下ろす



奥は剣岳



立入り禁止の地獄谷



獅子鼻岩の鎖場



五色ヶ原



室堂一望



奥大日岳への登山道



大走りから下って雷鳥平あたりから見上げる



奥大日岳への登山道からの眺め



不定期連載

# 山とトイレと私



山のトイレはクサイ。トイレがあるだけマシだが、やはりクサイ。いや、己の排泄物だって十分クサイのだが、自分のことは棚に上げて、クサイと思ってしまうのが人間といふものだ。クサイのがキライな私は(←誰だってそうだよ)、ヤマレコの記事にも書いたが、トイレに入るとまず、「オエエエ〜」と唸っている。ゲロ吐いてるわけではない。ただ、吐きそうなだけだ。また、声はオヤジのようだが、乙女(元)である。しかし不思議だ。私のようにバカみたいに唸ってる奴には、今まで会ったことがない。隣りの個室から聞こえてくるのは、せいぜいが気圧のために膨張したお腹の中のガスを噴出する音、これは毎回けっこう激しい。そのへんはお互い様だし、恥ずかしいだろうから聞こえないフリをしてあげる。聞こえないわけじゃないのだが。とにかく、トイレはクサイ。毎回マスクを持って行こうと思うが、忘れてしまう。だいいちめんどくさい。しかし、芳香剤を置くのはやめてね。あれの方がクサイから。

今月の

## 妄想登山

実現率:95%

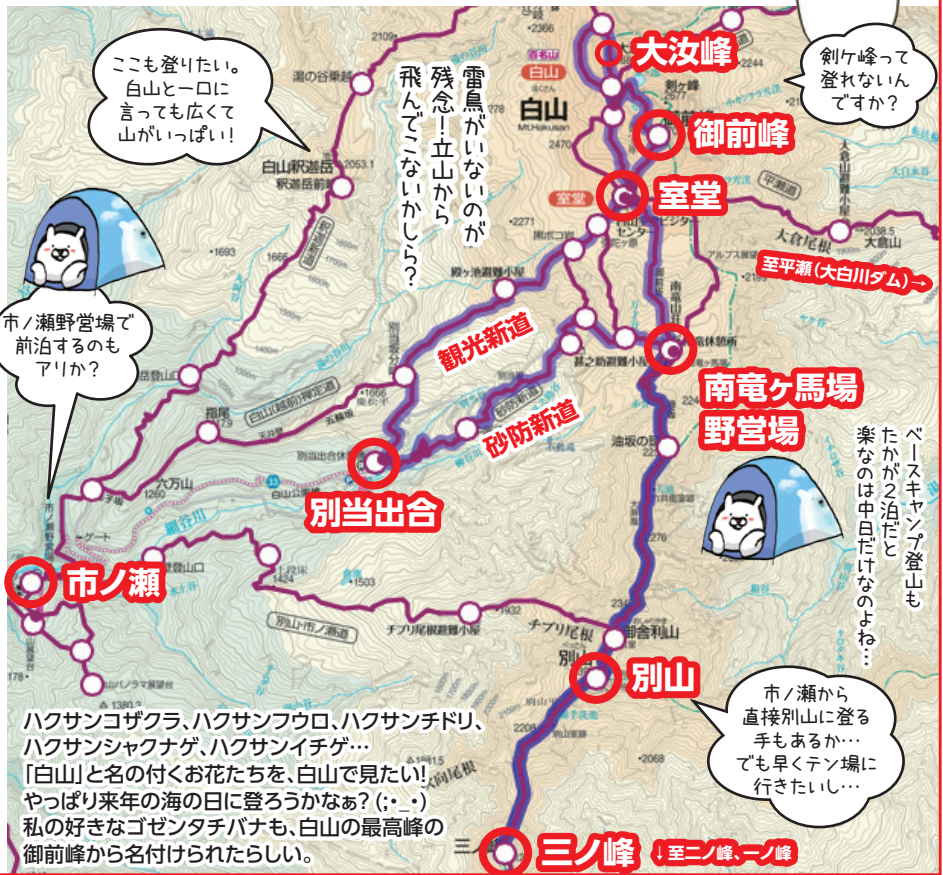
### 霊峰・白山(御前峰・別山)

お花の季節がいいかな? 紅葉の時期がいいかな? 今年の紅葉は?

白山に行きたい。今年、初めて本気で計画し、交通を調べてみたら何かショボい。一番人の多そうな(便の良さそうな)別当出合へのバスも期間限定で、夏が中心のようだ。なんということだ。愕然。しかし何とか、行けそうな目処は立った。あとは勇気だけである。混んでるだろうなー。テン場は広そうだから張れないことはないと思う。実は、私は白山登山をナメていた。盆休み、北アルプス縦走の予定に怖じ気づき、白山に変更しようとした腰抜けだが、何より、白山にもたいへん失礼な考えだった。案の定、金沢行き夜行バスは満席。もちろんその気になればいくらでも手段はあるが、やめた。白山に失礼だからだ。この件で霊峰白山の機嫌を損ねなければ良いのだが。ごめんよお白さん。

#### モデルプラン(2泊3日?)

- 1日目 別当出合→砂防新道→南電ヶ馬場野営場
  - 2日目 南電ヶ馬場野営場→別山→出来れば三ノ峰まで...→そうすると二ノ峰・一ノ峰も行きたいがムリ→南電ヶ馬場野営場
  - 3日目 南電ヶ馬場野営場→室堂とか弥陀ヶ原とか立山みたいだな...→御前峰→大汝峰→黒ポコ岩→観光新道→別当出合(秋は金沢までの直行バスが12時の便しかない!)
- 別当出合以外の登山口でバスってないのかな? しかしとりあえず白山初心者は別当出合からが良いだろう。バスに乗れなかったらどうしよう〜(座席定員制)汗



## いもねえひやくめいざん② 大滝山

北アルプス南部に位置し、長野県松本市と安曇野市にまたがる標高2,616 mの山。別名が、大嶽(おおだけ、信府統記による)、崩岳(くずれだけ、安曇郡誌による)、手水嶽(ちよずだけ、播隆絵図による)(Wikipediaより)

登山レベル: 私が歩いたのは鍋冠山経由で、人が少なく歩きやすい道でした。展望: 最高です(\*'▽')ノ...と言ってもガスってほとんど何も見えなかったが、トイレ: 登山口の三郷スカイライン展望台にあり、山頂の大滝山荘のトイレは素晴らしい!



テン泊が楽しくなってきた「どこかにもっとテン場はないかな〜」と適当に地図を見ていたら、目に入ったのが大滝山。狭い山頂がテン場になっていて、5張程度しか張れない上、大滝山荘は夏のヶ月ほどしか営業していない。鍋冠ルートは交通の便も悪く(タクシー利用)、登山者が少なくして熊が怖かった。しかし非常に歩きやすくてお花も豊富。山荘のトイレは常に水が流れていて快適、おそらく日本一の山トイレだと思っている。誰にも来て欲しくない、独り占めしたい山です。

## 週刊実話 第9回 大菩薩峠



それでも丸川峠で人の気配を感じたことに少しホッとした私。ここからの下りは当時の私にとっては勾配がきつ見え、また、道自体、枯れ枝が散乱してたり荒れていて、何だか枯れ沢のような感じ。「もしかしてここは登山道ではないのでは...?」「林業の人とかが通るだけの道ではないか」ということはどこにも辿り着けないのでは...?」等と不安を抱えながら、急な場所では尻餅をつきつ、とにかく下って行った。幸いなことに、下山を始めてから初めて(シャレではない)後ろから登山者(4人パーティ)が来たので少し安心。とりあえず先に行ってもらい、離れないようについて行く作戦に出た。しかし、失礼ながらこの4人、あまり頼もしそうではなかった。先頭はよぼよぼのおじいちゃん、半ズボンにサンダル履きのかなり太った中年男性、あともう1人男性がいたが何か全く覚えていない。紅一点の中年女性はちゃんと登山の格好だったが、正直言ってこのメンツでは、こいつらも道を間違えている可能性がある... (←ヒドイ)。自分のことは棚に上げてそんな失礼なことを考えながら、険しい(私にとっては)道を黙々と下り続けた。(続く)



今月のQuiz  
この看板はどこ(山・山域等)にあるでしょう?

\*先月号の答えは西沢渓谷でした。

### 編集長から一言

うちの会社に棲息する、全く働かない常務の息子くん、通称「ポクちゃん」がぎっくり腰になった。もちろん会社はお休みしている。一日中イスに座って、午後2時間ほどパパとお出掛けするだけのポクちゃんが、生意気にもぎっくり腰とは。一体何が原因なのか。「動かなさすぎて、筋肉が衰えているのではないか」「座ってるだけでも彼にとっては重労働なのでは?」「一体どこまでポンコツなんだ!」みんなして好き勝手なことを言うが、誰一人として心配のしる字もしなかった。事実、彼がいなくても業務に何の支障もないところがおそろしい。ちなみに彼は、パパに言わせると、昔サッカーをやっていた、スペイン留学の話もあったらしい。絶対ウソだと思うが。あまりにポンコツなので私がいっちゃ山に連れてって鍛えてやりたい気もするが、一緒に登って楽しいわけでもないでござんこむる。まあ、ぎっくり腰は怖いね。私も気を

